参考資料5

## クロス集計を用いた市民生活実感調査分析について

庁内のイントラネットにおいて、市民生活実感調査結果のデータベースを用いた分析方 法を提供する。

<掲載案>

市民生活実感調査結果のデータベースを,エクセルの「ピボットテーブル」という機能 を用いることにより,次のような視点から分析することができます。

<属性別分析の視点>

・性別,年齢別,職業別,居住区別,居住年数別,市政への関心度別

例)施策名「だれもがずっとくらし続けたくなるすまい・まちづくり」
 設問「今住んでいる住宅や周りの環境には満足している」
 の年齢別の回答結果が知りたい。

データベースの見方については、次のとおり:
・軸の説明
縦軸:調査票
横軸:設問及び属性
\*上記の設問は、ここでは「Q5」
\*年齢は「F2」で、各数字は次の年齢を表す。
1:20代、2:30代、3:40代、4:50代、5:60代、6:70代、7:80代

- ①「メニューバー」の「データ」の中から「ピボットテーブルとピボットグラフレポー
  - ト」を選択



②「ピボットテーブルウィザード」が画面に出てくるので、そのウィザードの中の「「Exelのリスト/データベース」及び「ピボットテーブル」を選択し、「次へ」を選択



③「使用するデータの範囲を指定してください」と画面に出てくるので、クロス集計を

かけるデータベースの範囲を指定

0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
0	ピポットティー	11.712#ss	レガニコ・ウィ	# _ k _ 2/	2			2 1	0	
ň	C/////////////////////////////////////	///////////////////////////////////////	199774	9 - 1 - <b>2</b> 7	3				ň	
ň	使用するデ	ータの範囲	を指定して	ください。					ň	
ő	節囲(R):	節用(R): Database 参昭(W)								
								<u></u>		
U									U	
		de la la	1211	/ 百天/0	<u>)     y</u>	6A (ND N	ニフ	(E)		
0		- キャン	セル	く 戻る(日		< ( <u>N</u> ) >		( <u>E</u> )	0	
0 0		+ti		く 戻る(日		( <u>N</u> ) / y	<u>-</u> 完了	(E)	0	
0 0 0	0	++) 0	1211	く 戻る(B ・ 0			<u>完</u> 了 。	(E)	0 0 0	
0 0 0	0	++) 0 0	<u>パセル</u> 0 1	く戻る(B ・ 0 0			<u>完了</u> 0 0	(E) 0 0	0 0 0 0	
0 0 0 0	0	++) 0 0 0	<u>パセル</u> 0 1 0	< 戻る(B , 0 0 0			<u>完</u> 7 0 0 0	(E) 0 0	0 0 0 0	
0 0 0 0 0	0 1 0	++) 0 0 0	<u>/セル</u> 0 1 0	く戻る(B 0 0 0			<u>完</u> 7 0 0 0		0 0 0 0 0	
0 0 0 0 0	0	+v) 0 0 0 0	<u>レセル</u> 0 1 0 0	く戻る(B 0 0 0 0			<u>完了</u> 0 0 0 0		0 0 0 0 0	

 ④「ピボットテーブルの作成先を指定してください」と画面に出てくるので、一つ目の クロス表を作成する際には「新規のワークシート」を選択し、「完了」を選択



⑤空白のピボットテーブルの画面が表示される。その画面上にピボットテーブルの操作に使用するピボットテーブルツールバーが表示されるので、クロス集計をかける対象をピボットテーブルツールバーから選択し、画面上の空白のピボットテーブルの「ここに行のフィールドをドラッグします」「ここに列のフィールドをドラッグします」「ここにデータアイテムをドラッグします」と指定された欄にクリックドラッグで移動させる。

(この場合行のフィールドに設問のQ5をドラッグ,列のフィールドに年齢別のF2 をドラッグ,中央部には、Q5をドラッグ)



## ⑥クロス集計表が完成

🏊 🛃 🖕										NO
A3 🔹	fx ∃	ドータの	)個数,	/ Q5						<u>-</u>  Q1
A	В	С	_D	E	F	G	H	I	J	Q2
		<u>シの</u>	)フィー,	ルトをト	シックし	レます				Q3
	<b>E</b> 2 -									Q4
データの1回数 / 125	<u>177 - 17</u>	1	2	3	A	5	6	7	≨‰≣∔	Q5
0	1	1	3		T	4	5	· · ·	14	
a	2	4		2	2	6	2	2	20	
Ь	2	7	4	6	13	14	11	4	61	
с	3	14	17	14	23	19	14	8	112	
d	7	10	17	31	35	25	22	8	155	
е	12	8	21	29	23	18	9	5	125	
総計	27	44	62	82	96	86	63	27	487	

以上の集計結果から,例えば ・回答者のうち,4の50代の割合が最も多い ・aと答えた人は,5の60代が最も多い ということが分かります。